

小田原市防犯灯設置基準要綱に定める

防犯灯の設置基準

- (1) 防犯灯は、東京電力株式会社と「公衆街路灯 A」の契約が結べるものとする。
- (2) 設置間隔は、防犯灯又はその他の公共用の照明灯から 30メートル以上とする。
ただし、夜間の犯罪の防止または通行の安全のため必要と認められる場合若しくは道路形状等によりやむを得ない場合は、この限りではない。
- (3) 防犯灯は、東電柱又は N T T 柱に設置するものとする。ただし、夜間の犯罪の防止または通行の安全のため、防犯灯の設置の必要がある場所に東電柱又は N T T 柱がないときは、鋼管ポールを建て防犯灯を設置できるものとする。
- (4) 防犯灯の最下端は、原則として地表上 4.5 m 以上とする。ただし、現場状況から取り付けが困難な場合は、市と協議するものとする。
- (5) 防犯灯を設置する際には、市の防犯灯管理札を取り付けるものとする。
- (6) 防犯灯は、L E D 防犯灯を使用するものとし、形状及び性能等は次のとおりとする。
 - ア 自動点滅器が付いていること。
 - イ 15 m 間隔でクラス B + 基準を準拠していること。
 - ウ 消費電力は、10 W / 灯以下（東京電力株式会社申請時の入力 V A が **10 V A / 灯**（100 V 時）以下）であること。（安定器及び電源装置を使用する場合は、これによる消費電力も含む。）
 - エ 光源寿命は 48,000 時間以上であり、同期間は安全な使用が可能であること。
 - オ 公益社団法人日本防犯設備協会が実施している R B S S（優良防犯機器認定制度）の認定品であること。またはそれと同等以上の性能であることが証明できるものであること。